

# 女性のためのSDGsゴール8(ディーセント・ワーク)推進事業【北九州市】

## 地域の実情と課題

- 今後、生産年齢人口の減少が見込まれる中、より一層女性が各々の希望に応じて個性や能力を発揮できる社会の形成を推進する必要がある。
- 結婚・出産で離職する女性も多く、就業している女性も家庭との両立に不安を抱えるなど、女性が働く上での障壁を取り除いていく必要がある。

## 事業の特徴

### 女性向け就業相談事業

市西部地区在住の女性への支援強化のため、西部地区にある区役所に女性向けの就業支援員を週1日配置し、就職や子育てとの両立に関する相談対応、就業支援機関との連携、ウーマンワークカフェ北九州のPR等を行う。

## 事業の効果

- ウーマンワークカフェ北九州の周知や、就職を考えながらも一歩を踏み出せていない潜在的求職者の掘り起こしに高い効果があった。
- ウーマンワークカフェ北九州への来所につながった人数は約60人となっており、新規利用者数の増加にも効果があった。(2月末時点での新規利用者数は2,837人)
- 25～44歳までの女性の就業率は、令和2年度に国勢調査実施のため、令和2年度に把握予定。

## 目的・目標

- 目的  
女性の就業支援を強化するため、ウーマンワークカフェ北九州の利用が難しい市西部地区在住の女性向けに、西部地区にある区役所に就業支援員を配置する。
- 目標  
ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数:4,000人  
25～44歳までの女性の就業率:73%

## 連携団体

- ウーマンワークカフェ北九州  
マザーズハロワーク北九州、福岡県子育て女性就職支援センター(北九州)、保育サービスコンシェルジュ、ひとり親家庭向け就業支援キャリアカウンセラー 等
- 就労支援機関  
若者ワークプラザ、ハローワーク、シニアハローワーク 等
- 市関係組織  
区役所保健福祉課、総務課、子育て支援課 等

## 今後の課題

アンケート結果から「ウーマンワークカフェ北九州について、まだ十分に知られていないこと」「不安や悩みを相談できず、求職活動への一歩を踏み出せていない女性が多いこと」「丁寧に話を聞いてもらえる女性専用の窓口を希望する声が強いのこと」等の課題や就業支援ニーズが存在することが明らかになったため、今後は配置日数を週1日から週2日に増やし、さらなる市西部地区における支援の強化を図る。

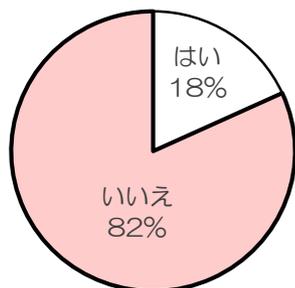
## 女性向け就業相談事業

### (1) ちよっとお仕事相談

- 実施回数 33回(R1.7~R2.2、週1回)
- 場 所 八幡西区役所
- 相談者数 282人
- 内 容

就職や子育てとの両立に関する相談対応、  
「ウーマンワークカフェ北九州」の紹介、  
アンケートによる就業支援ニーズの調査

ウーマンワークカフェ北九州  
を知っていますか



ウーマンワークカフェ北九州  
を利用したいですか



いいえの理由：場所が遠い (75%)

相談者の声

相談できる場所  
を探していた！

誰にも相談できな  
かったのがありが  
たかった！



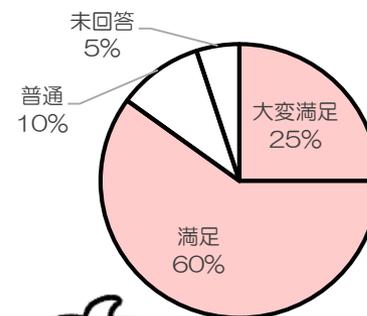
### (2) ミニセミナー・相談会

- 実施回数 2回
- 場 所 区役所親子ふれあいルーム
- 参加者数 20人
- 内 容

家計・育児・仕事について考えるミニセミナー、  
相談会、「ウーマンワークカフェ北九州」の紹介、  
アンケートによる就業支援ニーズの調査

参加者の声

- ・ 早期に働きたいと思える  
きっかけになった
- ・ 悩めることは皆同じな  
んだと感じた



セミナー  
満足度  
85%!

